
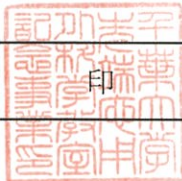


## 2020 年度 研究サマリー

研究会名称	千葉大学先端応用外科学記念教室記念事業
代表者所属	千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学 教授 千葉大学第二外科・先端応用外科 同門会 副会長
代表者氏名	松原 久裕 
研究方法・結果	<div style="text-align: right;"></div> <p>2020 年度においては、計画に基づき下記の研究等を行った。</p> <p>1) 千葉大学先端応用外科学教室記念事業： 2026 年の教室開講 100 周年を記念して、千葉大学先端応用外科学教室記念事業を進めている。教室における業績を振り返り、進歩の過程を検証し、外科学研究の成果と技術を伝承し、広く外科学の発展に寄与することを目的としている。運営会議を開催するとともに、教室出身者は他の医療機関にて指導的立場で研究を続けた者も多く、学内のみならず広い範囲での資料収集を鋭意行った。また、収集した資料をもとに記録作業を行った。</p> <p>2) 記念事業の大きな柱の一つとして、2021 年 4 月に当教室において主催の第 121 回日本外科学会学術集会を開催予定である。教室のこれまでの歴史、業績に関して動画で公開するための編集会議を行うとともに、最終的に完成した動画を第 121 回日本外科学会定期学術集会のホームページ上に公開した。</p> <p>3) 食道癌、胃癌、大腸癌および腎臓移植における治療成績向上のための基礎及び臨床研究、手術法の開発： 消化器癌の発癌、転移、浸潤などのメカニズムを解明し、さらに治療に応用すべく基礎的あるいは臨床的な研究を継続している。ただし、本年度においては新型コロナウイルス感染の影響で計画通りに進めることができなかった。こうした中においても、外科学全般における先端的手術手技啓蒙のために、第 121 回日本外科学会定期学術集会の一環として、2021 年 9 月に献体（遗体）を用いたライブ中継による手術手技研修会を計画し、そのための会議を行うとともに、当日使用するためのビデオ制作を行った。</p> <p>4) 腎臓移植に関わる教育啓蒙活動： 新型コロナウイルス感染症の影響で教育啓蒙活動が十分にできない状況が続いている。</p>
研究成果（論文、学会発表、雑誌掲載等）	